



光 和

光和小
携帯サイト

2月号
練馬区立光和小学校
令和3年1月29日



春に向けて

校長 矢島 直行

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われますが、早いもので、令和3年も1か月がたちます。

今年は、2月3日が「立春」です。1985年以来、2月4日が続いていたのですが、37年ぶりに日付が変動します。1年で最も寒い時期ですが、暦の上では春が始まります。寒い中でも校庭の梅の枝につぼみが膨らみ始め、これから花を咲かそうとしています。少しずつでも確実に春の訪れを感じることができます。

さて、感染症予防のために絵画展の公開が中止になりました。そこで楽しみにされていた保護者の皆様に少しでも絵画展の雰囲気を感じていただけたらと、バーチャル絵画展を行いました。実際に鑑賞するのとは違いがあったかと思いますが、感染拡大防止に努めながら、今、学校ができることの取り組みです。課題等もありますが、今回の経験を踏まえて今後に活かしてまいります。

例年ですと学校では、これから年度末、新年度に向けての行事が続きます。例えば、1年生の幼稚園と保育園の園児との交流会や3年生のクラブ体験などがあります。また、卒業する6年生を中心とした行事も多くなります。6年生を送る会では、1年生から5年生までが、今までお世話になった6年生へ感謝の気持ちを伝えていきます。6年生は、今まで支えてくれた下級生に光和小学校の伝統を引き継いでいきます。これからの活動を通して、6年生は一日一日が小学校生活最後の思い出づくりとなります。また、1年生から4年生は進級する自覚、5年生は自分たちが最高学年となる自覚をもつ機会ともなります。

しかしながら、現在の状況では例年通り行うことはできません。感染拡大防止のため教育活動に制約があります。または、中止になることもあります。そのような中において、今できることを子供たちとともに取り組んでいきます。例えば、6年生を送る会でのリモートの活用です。全員が一堂に集まって行うことができない中、各学年、各クラスからリモートで6年生に感謝の気持ちを伝えます。今できることを工夫しながら一生懸命に取り組んでいくことが大切です。困難な状況でも前向きに友達と協力しながら乗り越えていく経験は、大きな財産になります。

2月には、児童にタブレット端末が一人一人に貸与されます。書くことや話すこと、聞くことなどを身に付けるためには、これまでの授業が基本となりますが、学習道具の一つとして利活用していきます。タブレット端末の利活用にあたりましては、保管など保護者の皆様のご協力をいただくことがあります。詳しいことは後日、お知らせいたします。

春に向けて花を咲かそうと準備をするのは草木だけでなく、子供たちにも同じことがいえます。今、子供たちは進学、進級に向けての準備に取り組んでいます。教職員も一丸となって子供たち一人一人が学習、生活のまとめをしっかりと行うことができるように努めてまいります。